

静岡文化芸術大学 図書館・情報センターだより

新告知

Shizuoka University of Art and Culture Library News

2012.7 Vol.20

平成24年7月発行

発行所 静岡文化芸術大学 図書館・情報センター
〒430-8533 浜松市中区中央二丁目1番1号
TEL(053)457-6124 FAX(053)457-6125
<http://www.suac.ac.jp/library/>

Contents

■表紙

『源氏物語絵巻』 ————— ①

■図書館散歩

言葉の森をさまよう ————— ②

図書館・情報センター長
デザイン学部 生産造形学科 教授
大学院 デザイン研究科 教授
黒田 宏治

図書館の出てくる本、 図書館で出会った本 ————— ③

文化政策学部 文化政策学科 教授
林 左和子

■シリーズ

図書館・情報センターを使いこなそう!

マイライブラリ編 Part5 — ④

■知っていますか?こんなサービス

購入希望(リクエスト) ————— ⑥

■巻末

図書館ニュース ————— ⑧



『源氏物語絵巻』 徳川黎明会、五島美術館編 講談社 1968. [913.36/Mu 56]

平安時代中期に紫式部によって書かれた「源氏物語」は、どの時代の人をもひきつけて離さない不思議な魅力を持っています。この物語が書かれてから約百年後、その物語に絵が付され、詞書と華麗な絵によって構成される「源氏物語絵巻」が作られました。

源氏物語絵巻は現存する日本最古の絵物語ですが、いつ誰の手によって、どんな形や数量で作られたものか、正確にはわかっていません。絵は、藤原隆能が描いたといわれ「隆能源氏」とも呼ばれていますが、その伝承は、十八世紀末江戸後期に発したもので、もとより根拠はありません。当初はおそらく全五十四帖にわたって作られ、一巻が約20mあまりの長尺の巻物で十余巻より成っていたと推測されます。しかし、長い年月の間に散逸し、現存するのはわずか四巻(絵十九帖分・詞三十七帖分)です。

現存する四巻のうち、一巻は阿波徳島の蜂須賀家に伝来し、現在五島美術館の所蔵となっています。また、残り三巻は尾張徳川家に伝来し、現在徳川美術館が所蔵しています。

この絵物語で用いられている引目鉤鼻(人物の顔貌にみる没個性の表情)や吹抜屋台(室内を見やすくするため屋根を除く描写)といった描写技法は、平安時代絵物語の形式として完成の域に達したことを示しています。また、下図の線描の上に彩色を塗りつめ、さらに墨線で描き起こす作り絵の手法も、やまと絵の一スタイルとして長く伝承されています。

参考文献

- ・徳川黎明会、五島美術館編、国寶源氏物語絵巻解説、講談社、1968. [913.36/Mu 56]
- ・NHK名古屋「よみがえる源氏物語絵巻」取材班著、『よみがえる源氏物語絵巻』、日本放送出版協会、2006. [721.2/N71]
- ・濱田隆編、『絵画』(国宝大事典 1)、講談社、1985. [709.1/Ko 45/1]



図書館・情報センター長
デザイン学部 生産造形学科 教授
大学院 デザイン研究科 教授

黒田 宏治

Kuroda Kohji

本文中に登場した資料

伊東俊太郎[ほか]編

『科学史技術史事典』

[402.03 / Ka 16]

『イメージの博物誌』

[147.08 / I 46 / 1-34]

小学館辞典編集部[編]

『色の手帖』(新版)

[757.3 / I 66]

高橋順子[文]

『風の名前』

[451.4 / Ta 33]

ジュール・ルナール[著]；田園詩[訳]

『博物誌』；田園詩』(ルナール全集；5)

[958.68 / R 27 / 5]

小山薫堂[著]

『恋する日本語』

[913.6 / Ko 97]

中西進[著]

『ひらがなでよめばわかる日本語』

[812 / N 38]

フランク・B. ギブニー[編]

『ブリタニカ国際大百科事典』

[031 / G 42 / 1-20]

publié sous la direction de Paul Augé

『Larousse du XXe siècle』

[035 / L 32 / 1-6]

新村出[編]

『広辞苑』(第六版)

[813.1 / Sh 641 / 1-3]

山口翼[編]

『日本語大シソーラス：類語検索大辞典』

[813.5 / Y 24]

中村明[著]

『日本語語感の辞典』

[813.1 / N 37]

小学館国語辞典編集部[編]

『日本国語大辞典』(第2版)

[813.1 / N 771 / 1-14]

諸橋徹次[著]

『大漢和辞典』(修訂版)

[813.2 / Mo 75 / 1-13]

言葉の森をさまよう

もう30年も前のことになるが、とある事典を愛読していた時期がある。A4の判型で1,400頁余り、重さ2.7kgと大部な『科学史技術史事典』である。1980年代の前半に、国際博覧会のパビリオンの企画に携わるなかで、科学史のピクチャーウォールを担当することになり、科学史の文脈や出来事を精査する必要に迫られたのが発端であった。歴史というものは様々な出来事の連鎖である。主要な人物やことがらから調べ始めるうち、しかも足かけ3年の試行錯誤、何度も繰り返して調べていくうちに、専門の事典には一つひとつの項目に関連項目や参考文献が付されているのだが、それに従い頁を繰って関連の項目群を追いかける日々を送っていた。結果、次から次へと大部の事典の各頁に引き込まれていったという経緯である。ヒストリアンの末席に座す契機になった思い出の一冊である。

事典というものは面白いものである。一字違いでも辞典というと、例えば国語辞典や英語の辞書を思い浮かべていただきたいが、用語を引くと対応する意味内容が要領よく記されており、便利ではあるが、味わいにはちと欠ける。それに対して事典となると、項目に関する情報や解釈が綴られるかたちとなり、一つひとつの項目が読み物仕立ての構成になってくる。写真やイラスト、ときに細密描写の銅版画などが添えられることもある。そして関連の項目を順に繰っていくならば、概念の断片が互いに触手を伸ばしあい、パッチワークのように歴史観、ないしは世界観の物語が紡がれていく。知識の獲得に役立ち便利に違いないが、読み込むほどに楽しさも増していく、そんな一面を有する書物でもある。

それはともかく、それ以前には科学というと数式の羅列みたいなもの、合理性の神殿のような思い込みに囚われていたのだが、近代科学の誕生には占星術や錬金術など一見非合理で神秘的な世界観も深くかかわっていたことに、目を啓かされることになった。『イメージの博物誌』(全16冊(Ⅰ・Ⅱ期))に出会ったのは、そんなタイミングであったと記憶する。科学の目からはやや怪しげな感触の「占星術」「錬金術」「魔術」「タントラ」「タオ」などの表題のもと、象徴的な図版類を中心に構成されたビジュアルブックのシリーズであった。科学の呪縛を解いて各冊の頁を繰っていくと、古今東西の諸文明・文化における世界観や自然を読み解こうとする姿勢が垣間見られる内容である。興味深く読んだというか、豊富で美しい図版資料に引き込まれるように異世界を見たというのが当たっている。

とかく事典というと大部で膨大なイメージで、文字がぎっしりと詰まって敬遠されがちな印象だが、コンパクトで身近に親しめる事典も散見されるところである。例えばA5判で200頁前後の『色の手帖』や『風の名前』などがある。前者は色見本帳かと思いきや、日本の伝統色が古典や近代文学から用例を引いて紹介されており、色に対する日本人の細やかな想いを窺える。後者では、春を代表する風である東風(こち)の項には日本各地の15種類のバリエーションが記されるなど、風をめぐるの風物誌が豊かである。いずれも心の機微を伝える恋文の言葉選びにも役立ちそうな内容である。手に取りやすく読みやすいルナールの『博物誌』も忘れずに加えたい。身近な動物や鳥類、爬虫類などにまつわるユーモア溢れるエッセー集といったらいいか、文庫版でも味わえる小品である。有名な蛇の項などには笑みがもれてくる。日本語を咀嚼するには、言葉の小事典といったらいいか、『恋する日本語』や『ひらがなでよめばわかる日本語』など手軽で趣があってよい。

さて、本学図書館には初代学長である故木村尚三郎先生の蔵書からなる木村文庫が置かれているが、そこには『ブリタニカ国際大百科事典』(全20巻)、『LAROUSSE』(全6巻)など内外の4百科事典をはじめとし、東西の歴史や文化にまつわる数々の事典資料が収められている。木村先生の稀有な博識の一端は、豊富な事典類の存在に支えられていたのではないかと考えてくる。言葉や概念の豊かさや正確さは学徒の基本であることは言うまでもない。種々の事典をまめに手に取り一頁一頁繰ることの大切さを、蔵書を通じて木村先生から教えていただいた思いがする。そんな思いも胸にして、今回は事典にことよせて読書体験の一端を披露させていただいた次第である。

少壮のころ専門事典を愛読したと書いたが、概念の森に切り込むには言葉の武器は欠かせない。当時は第三版であったと思うが『広辞苑』には随分と助けられた。キャプションの執筆、とりまとめには、丁寧に語彙に当たってきたことが思い出される。言葉とは間違い無ければよいかというと、さにあらず、微妙なニュアンスを使い分け、文章としての視覚的・聴覚的なリズムや美しさも工夫したいところである。そのように考え、『日本語大シソーラス』や『日本語語感の辞典』なども現在は手元に備えている。当時は手が出なかったが、いまは本学図書館も身近にある環境、言葉の宝庫である『日本国語大辞典』(全14巻)や『大漢和辞典』(全13巻)などにも、機会をみて親しんでいけたらと思っている。大辞典には約50万項目が、大漢和には親文字5万余字が収められている。言葉の森は深い。



文化政策学部 文化政策学科 教授

林 左和子

Hayashi Sawako

本文中に登場した資料

加賀乙彦〔著〕

『宣告』

[913.6 / Ka 16]

リチャード・ライト〔作〕；野崎孝〔訳〕
『ブラック・ボーイ：ある幼少期の記録』
[081 / 95 / R328]

渡辺有理子〔著〕
『図書館への道
ービルマ難民キャンプでの1095日』
[011.3 / W 46]

シャンティ国際ボランティア会〔編〕
『図書館は、国境をこえる
ー国際協力NGO30年の軌跡』
[016.28 / Sh 12]

山内薫〔著〕
『本と人をつなぐ図書館員：
障害のある人、赤ちゃんから高齢者まで』
[015.17 / Y 46]

井上真琴〔著〕
『図書館に訊け!』
[081 / C 44 / 486]

ドストエフスキー〔著〕；工藤精一郎〔訳〕
『罪と罰』（ドストエフスキー全集）
[988 / D 88-1 / 7]

『青銅の基督』
（長與善郎、野上彌生子集）
（現代日本文学全集）
[918.6 / G 34 / 28]

ヴィクトル・ユゴー〔著〕；辻昶〔訳〕
『レ・ミゼラブル』
（ヴィクトル・ユゴー文学館）
[958.68 / H 98 / 2-4]

徳富健次郎〔著〕
『思出の記』（蘆花全集）
[918.68 / To 45 / 6]

ドストエフスキー〔著〕；木村浩ほか〔訳〕
『貧しき人びと；分身他』
（ドストエフスキー全集）
[988 / D 88-1 / 1]

図書館の出てくる本、図書館で出会った本

図書館が登場する小説は少なくないが、その中で特に印象に残っている本が2冊ある。『宣告』には、精神科医の近木が、大学図書館でドイツの医学雑誌に掲載された論文を読みながら、「ドイツの学者は六十数年後に、極東の若い精神科医が自分の論文に読み耽るなどと考えもせず、極東の精神科医は自分が偶然診た患者と同じ症状の患者をすでに六十数年前にドイツの学者が報告していたことに驚く」と感じる場面がある。この場面を読むと、図書館とは、時代を超え、地域を越えて、直接会うことのできない人々の対話を可能にする場所となりうるのだと思わされる。

『ブラック・ボーイ』の主人公は、20世紀初めの米国南部メンフィスで眼鏡会社の走り使いなどの仕事をしている。ある時、新聞の社説で興味を持ったH.L.メンケンの著作を市立図書館から借りることに成功、「読み終わったばかりは、これまでの自分が、人生において、ある非常に重要なものを、見のがしてきたという確信をもった」。「たまたま本が読みたくなった。…何か新しいものを体感したい、世の中の見方を一変させるようなものに接触したい、そういう切実な願望」を感じ、読書を通して「人生のいろいろな可能性の片鱗を、漠然とながら思い描くように」なる。物語は、主人公が新しい生活を求めて北部に向かうところで終わる。読書や図書館の意義を考えさせられる小説である。

小説ではないが、『図書館への道』と『図書館は、国境をこえる』も読書や図書館の意義について考えさせられる。この2冊は、シャンティ国際ボランティア会（SVA）がアジア各地の難民キャンプや都市スラム、農村などで行っている、「図書館」を中心にした救援活動を報告したものである。「図書館」を中心に活動してきたのは、「おはなし」や「絵本」は子どもたちに多様な世界、生き方を知らせることができ、それにより将来に希望を持つことができるようになるという理由であった。また、図書館は伝統文化の継承を通じてそこに暮らす人々のアイデンティティを守る場所となるとともに、そこに暮らす人々が主体となるコミュニティセンターとしての役割も果たす。ユネスコ公共図書館宣言に通じる公共図書館の原点といえる。

図書館員の書いた図書館の本は多数あるが、その中で『本と人をつなぐ図書館員』と『図書館に訊け!』を紹介したい。『本と人をつなぐ図書館員』の著者は、墨田区立図書館で長く障害のある人へのサービスに取り組んできた。この本を読むと、それは一人一人の利用者の要求をかなえようと真摯に対応してきた結果であり、「図書館にとって普遍的な、あるいは根源的なサービス」であることがわかる。『図書館に訊け!』は、学生時代、図書館に「ゴーマンさ」を感じた著者が「敵情視察には司書となって図書館に潜伏するのがいちばん」と考え、同志社大学の図書館で働く中で、「利用者の視点から資料や情報に接する楽しさを伝える」との意図で書いた本である。著者の指摘の通り、「図書館の怖いところは、利用者の関心やレベルに応じて、その相貌と機能を変えるところにある」ので、本学の学生が、図書館（そして図書館員）に訊きながら、図書館利用のレベルを上げていってくれればと願っている。

最後に、私自身が、大きな力で揺さぶられるような感覚を持った本を紹介して終わりたい。『罪と罰』と『青銅の基督』は高校の図書室で読んだ。1年生の頃、図書室にある小説は世界と日本の文学全集くらいという新設高校だったため、偶然手に取る機会があったのだと思う。大学図書館にあった、文学全集収録の『レ・ミゼラブル』では、コゼットの父親のことなど子ども向けの作品で省略されていたエピソードを読むことができた。この作品を読んで始めて、『思出の記』の「人民に自由平等の理想を吹き込むにはどうしたらよかろうと板垣君が問うたら、おれの小説を読まずがいいというたもユゴーではないか」が納得できた。『貧しき人びと』は、ロシア文学に詳しい恩師のすすめで手に取った。貧しい境遇にある二人の人々の間で交わされた手紙だけで構成されている作品で、その世界に取り込まれてしまい、これが作られた物語とは思えないと感じたことを覚えている。学生時代は、本を買うには財布との相談が必要で、文庫本1冊でも慎重になった。どうしても確実に役立つ（あるいは楽しめる）とわかっている本が優先となってしまう。しかし、図書館では、とりあえず読んでみる事ができた。この4冊はいずれも図書館でなければ出会えなかった本かもしれないと思う。

大学図書館にもっと小説などがあると良い、との意見を聞くことがある。ただ、偶然手に取った本が忘れられないものとなる可能性もあるので、まず図書館にある本を手にとってもらえればと思う。

マイライブラリ編 Part 5 ～新着図書を検索する～

新着情報の登録をしておけば、その条件に当てはまる資料が利用できるようになったときに、その資料がマイライブラリのトップ画面に表示されます。(過去2週間分の表示)

【Step1】

マイライブラリにログインし、マイライブラリのトップ画面の新着情報にある「新着図書の条件」をクリックしてください。

《マイライブラリ》画面



新着情報

条件が設定されていません。



新着図書の条件



新着図書の条件

条件が登録されていません。条件は10件まで登録できます。

条件の追加

●追加条件 and and

入力条件の確認

元の画面に戻る

【Step2】

新着図書の条件の画面で「追加条件」に自分が希望する資料のキーワードを入力して下さい。1件の条件に対して3つのキーワードが指定できます。入力後、「入力条件の確認」ボタンをクリックしてください。



新着図書の条件

条件が登録されていません。条件は10件まで登録できます。

条件の追加


●追加条件 and and

入力条件の確認

元の画面に戻る

【Step3】

新着図書の条件の確認画面になります。この画面では、条件に該当する資料の件数（過去1年分）が表示されます。この時、条件を満たす資料がヒットしなかった場合は「条件を見直す」ボタンをクリックしてやり直してください。この条件で良ければ「この条件を登録」をクリックしてください。（《マイライブラリ》画面では過去2週間以内の新着図書が表示されます。）



新着図書の条件追加：確認

①この条件を満たす資料は過去1年間に20件ありました。

●追加条件：美術 and 現代 >> 図書:20件（過去1年分）

【Step4】

「この条件を登録」をクリックした後は、条件の追加画面に戻ります。引き続き条件を作成したい場合は、キーワードを入力して繰り返ししてください。新着図書の条件は10件まで登録できます。また、一度作成した条件を削除・変更したい場合はその条件を選択して（○にチェック）削除・変更を行ってください。



新着図書の条件

①条件を追加しました。

登録できる条件は最大10件です。あと9件の条件が追加できます。登録されている条件を選んで、変更や削除をすることもできます。

条件の追加

●追加条件 and and

条件の変更・削除

1. ☐ 美術 and 現代 * 図書:20件

ログイン・ログアウトについて

インターネットで当センターの蔵書検索が可能なパソコンであれば、マイライブラリのログインが可能です。

ログインに使用する利用者IDは学籍番号、パスワードはSUAC-NETのログインパスワードと同じです。パスワードを忘れた場合は、SUAC-Netパスワードの初期化をする必要がありますのでカウンターで申請してください。（処理には3日かかります。）

利用が終わったら必ずログアウトしてください。特にセンター内OPAC検索コーナーでは十分に留意してください。

また、マイライブラリは本学学生・教職員以外の方の利用は出来ません。

購入希望(リクエスト)

「読みたい本がない」「こんな本を置いてほしい」「論文を書くのに必要な本だけど高価だし・・・」といったことはありませんか？
そんなときは、購入希望(リクエスト)をしてください。

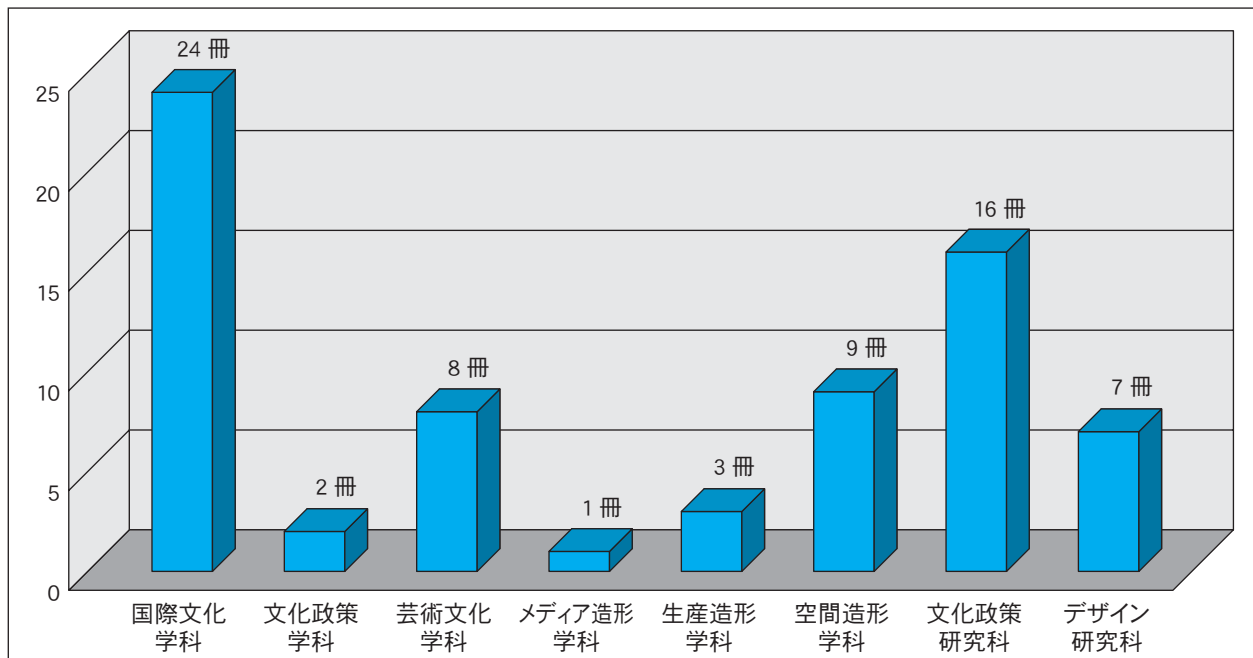
購入希望は、「購入希望図書申込書(3枚綴り)」に必要事項を記入して、カウンターに提出するだけです。希望図書の内容・予算等を検討の上、購入します。購入希望を提出した図書が利用可能になった時点で、メール(SUACメール)にてご連絡します。

申込みに際しての注意事項

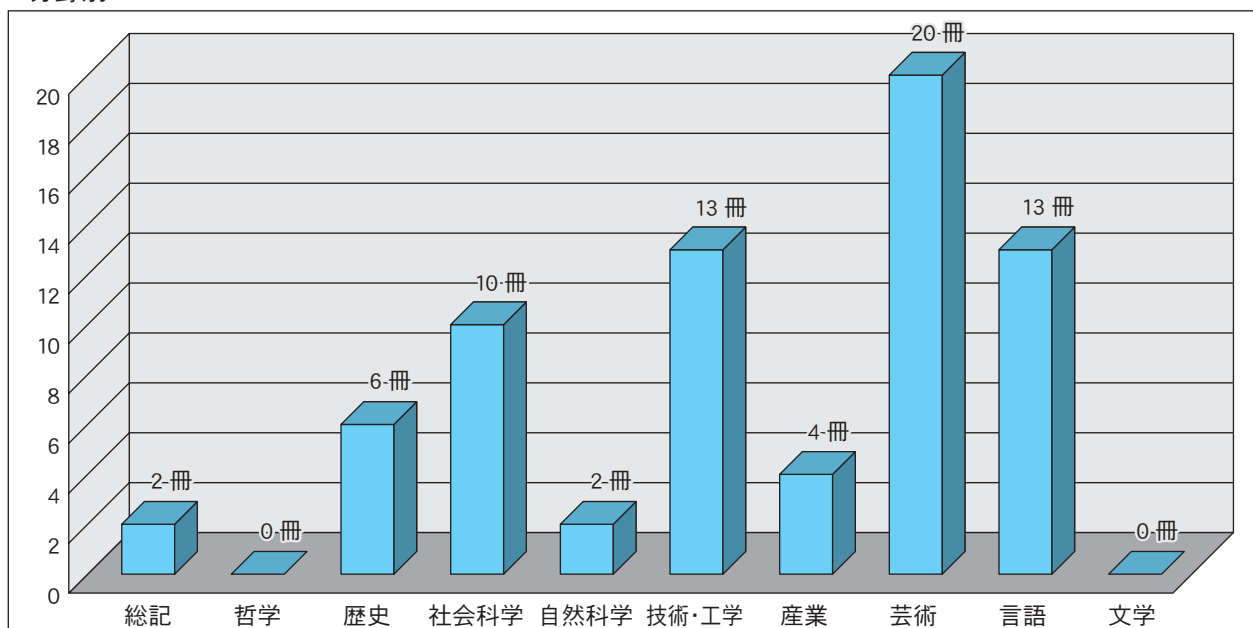
- ※申込みは、[「本学の学生」](#)に限ります。
- ※雑誌・漫画類及び1点5万円以上の高額図書を除きます。
- ※既に蔵書として所蔵している図書は購入出来ません。
- ※出版社、価格等不明な点がありましたら、カウンターでご相談ください。

◎2011 年度の実績

・ 学科別



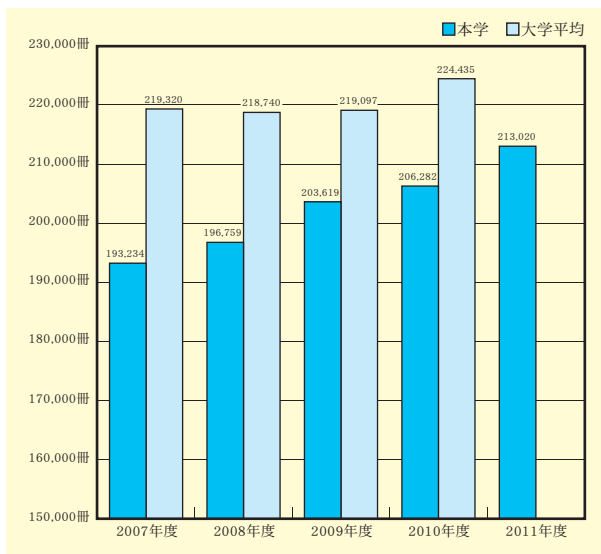
・ 分野別



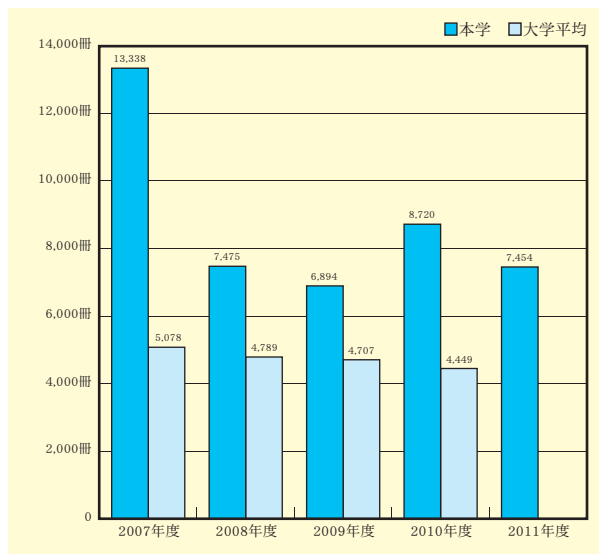
・購入図書一覧

請求記号	書名
007.642/Ti 1	Learning Autodesk alias design 2010 Rev. & updated ed
060/J 76	民間助成イノベーション：制度改革後の助成財団のビジョン
210.6/O 15	明治国家と士族
210.62/G 72	士族反乱の研究（歴史学研究叢書）
219.3/Mo 84	幕末軍事技術の軌跡：佐賀藩史料『松乃落葉』
234.7/Z 9	ホロコーストと国家の略奪：ブダペスト発「黄金列車」のゆくえ
285.3/Th 3	ヘンテコピーブルUSA：彼らが信じる奇妙な世界
290.38/Z 3/2010	ゼンリン住宅地図（沖縄県）2010 宮古島市 1 平良
311.1/R 18	正義論 改訂版
329.23/Ta 33	一瞬でわかる日本と世界の領土問題
332.106/F 72	華士族秩禄処分の研究 新訂版
332.106/Ki 22	士族授産の研究 全訂改版（日本経済史研究所研究叢書：第3冊）
333.8/Ta 84	「援助」する前に考えよう：参加型開発とPLAがわかる本
335.89/Ts 54	イギリス非営利セクターの挑戦：NPO・政府の戦略的パートナーシップ
361.453/N 48	文化人とは何か？
361.5/Sa 82	The culture of the Europeans：from 1800 to the present
364.02/A 99	明治社会政策史：士族授産の研究（現代学藝全書：103）
369.31/H 55	東日本大震災と「こころ」のゆくえ：総特集（「現代思想」臨時増刊：第39巻第12号）（Imago）
488.03/Se 24	鳥の形態図鑑
498.12/Te 31	医事法入門 第3版（有斐閣アルマ：Advanced）
501.83/N 73	日本発 21世紀デザイン
501.83/Sh 18	デザイン工学の世界
520.4/Mi 37	建築の還元：更地から考えるために
520.9/Ma 82	「住宅ができる世界」のしくみ
523.07/Se 22/1～5	世界の建築鑑賞 1～5
537.25/N 71	EVスーパーハンドブック 2011
537.92/W 71	Audi Design Projekt：Automobile Visionen unter dem Motto "intelligent Emotion"
545.88/F 67	家電品を分解してみると！（「分解」！壊せば道理が見えてくる）
589.214/B 52	メンズウェア 100年史
617.4/Y 31	茶業地域の研究
673.7/To 36	最新家電量販業界の動向とカラクリがよくわかる本：業界人、就職、転職に役立つ情報満載（How-nual 図解入門・業界研究）
675/Mi 67	これからの日本のために「シェア」の話をしよう
678.2/Ma 25	50 reasons to buy fair trade
702.07/A 82	まちにアートの風が吹く：NPOと企業が協働するアサヒ・アート・フェスティバルの試み
702.16/Ki 46	地方の美術の森から
702.191/Ta 87	札幌アートウオーク
704/F 67	芸術と福祉：アーティストとしての人間（阪大リーブル：14）
706.9/Se 93	瀬戸内国際芸術祭 2010：作品記録集
706/Ta 89/2007	アクセス・アーツ 2007：障害のある人の芸術文化ガイド
709/N 32	これからのアートマネジメント：“ソーシャル・シェア”への道（Next creator book）
712.34/KI 4	Skulptur Projekte Münster 1997 Fotografien
723.346/KI 6	クリムトとウィーン（Coffee table books）
723.346/KI 6	クリムト：美と暗の妖艶（Art book）
723.346/KI 6	クリムト金色の交響曲（ショトル・ミュージアム）
725.5/Ta 87	水彩色鉛筆で楽しく野鳥が描ける“タマゴ式”鳥絵塾
760.7/Ka 92/1～2	音楽教育の内容と方法 上・下（音楽教育史論叢：第3巻）
760.7/N 71	本邦音楽教育史
764.7/G 32	日本ロック大百科・年表編：ロカビリーからバンド・ブームまで 1955～1990（宝島 collection）
764.7/Ka 84	小さな町の小さなライブハウスから
764.7/N 37	大人のライブハウス遊び
764.7/Sa 85	荻窪ルースター物語：ライブハウスのつくりかた
764.7/To 78	進駐軍クラブから歌謡曲へ：戦後日本ポピュラー音楽の黎明期
801.78/Ta 12/12	スペイン：スペイン語 第3版（ここ以外のどこかへ！旅の指さし会話帳：12）
801.78/Ta 12/18	トルコ：トルコ語 第二版（ここ以外のどこかへ！旅の指さし会話帳：18）
801.78/Ta 12/21	JAPAN：日本語（ここ以外のどこかへ！旅の指さし会話帳：21）
801.78/Ta 12/23	ブラジル：ブラジル（ポルトガル）語（ここ以外のどこかへ！旅の指さし会話帳：23）
801.78/Ta 12/26	ロシア：ロシア語（ここ以外のどこかへ！旅の指さし会話帳：26）
801.78/Ta 12/32	カナダ：カナダ英語（ここ以外のどこかへ！旅の指さし会話帳：32）
801.78/Ta 12/39	エジプト：エジプト（アラビア）語（ここ以外のどこかへ！旅の指さし会話帳：39）
801.78/Ta 12/54	ニュージーランド：ニュージーランド英語（ここ以外のどこかへ！旅の指さし会話帳：54）
801.78/Ta 12/56	スリランカ：シンハラ語（ここ以外のどこかへ！旅の指さし会話帳：56）
801.78/Ta 12/62	ペルー：ペルー「スペイン」語（ここ以外のどこかへ！旅の指さし会話帳：62）
811.2/Sh 83	人名字解
817.8/Ku 55/4	英語版（ここ以外のどこかへ！暮らしの日本語指さし会話帳：4）
846/O 35	はじめての独作文 改訂新正書法版

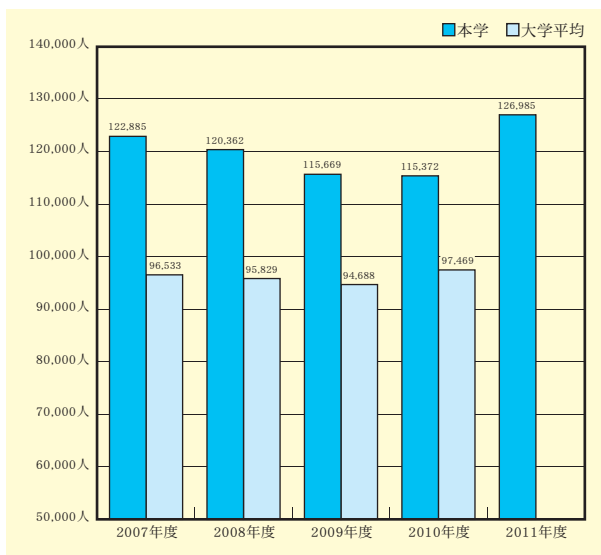
◎蔵書冊数



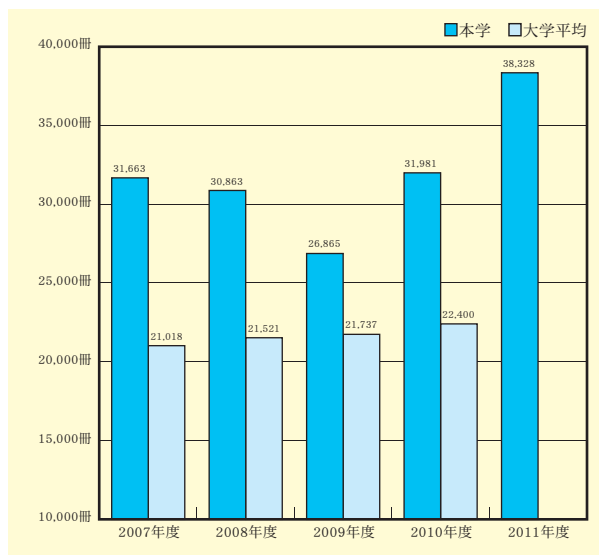
◎受入冊数



◎入館者数

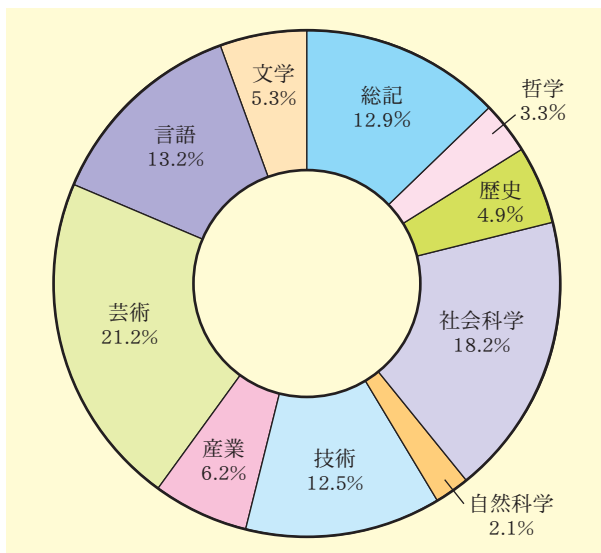


◎館外貸出冊数



「大学平均」は『日本の図書館：統計と名簿』より算出

◎2011 年度貸出図書分野別割合



※くわしい情報は図書館・情報センターのホームページで!

○蔵書

蔵書は約21万3千冊、視聴覚資料が約6千7百点となりました。また、2011年度の受入資料は約7千5百冊。2010年度より減りましたが、2009年度と同程度となりました。

○閲覧

2011年度の入館者数は約12万7千人となり、2010年度より1万人以上増加しました。学生の入館者数が大幅に増えました。また、貸出冊数は約3万8千冊で、開学以来最多となりました。学生への貸出冊数も開学以来最多となりました。

入館者数、貸出冊数とも、ほぼすべての月で一昨年度実績を上回りました。一方、利用のピークは従来の傾向と変わらず7月でした。

○その他

メディアステーション等館内PC利用者数は、すべての月で一昨年度実績より増加しました。